

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第43号
2013年12月20日発行

<各地区からのお便り>

今回の原稿は、①伊仙町②奄美市笠利ブロック
③大和村④龍郷町から届きました。ありがとうございました。



①伊仙町小・中学校事務職員会 伊仙町立伊仙中学校 宿里 洋平

こんにちは、伊仙町小・中学校事務職員会です。

伊仙町には小学校8校（内兼務校が2校）、中学校3校あります。平成25年度は、共同実施を本格実施することもあり、研修テーマを「学校事務と共同実施支援室のあり方について～業務内容の検討～」とし、共同実施事務と絡めながら事務研修会を行っています。新規採用職員が1名、期限付職員が1名加わってベテラン3名、3年目3名、2年目・新採3名のバランス良い構成で研修会のスタートを切りました。

研修会は通常、伊仙町教育委員会の会議室で行い、学期に1回は学校で開催しています。学校での開催時は、個人レポートの発表を当番校職員に行ってもらっています。レポートの内容は、事務的なことから、著作権、職員の旅行記など多岐にわたり、興味深い内容が毎回発表されています。通常の研修会では主に事例研修と伊仙町事務職員会の諸課題の改善策の検討を行っています。各学校で起こった減多にない事例や事務処理の難しい事例について周知しあい内容について研究したり、様々な事例を挙げながら、伊仙町や共同実施に沿った事務のあり方になるよう改善策や業務内容を検討しています。また隔月ぐらいの間隔で「わいどステーション」という事務便りを発刊し、学校職員へ共同実施についての情報提供を行っています。

このように共同実施という新しい事務のあり方について考えながら日々の業務の改善点について検討し、効率的で今の伊仙町にあった事務処理について考えています。構成人数は9名と少ないですが、出来る限り学校支援に望んでいきたいと全事務職員で一丸となって頑張ります。



②奄美市笠利地区学校支援室 緑が丘小学校 金森 永光

みなさん、こんにちは。奄美市笠利地区学校事務支援室です。笠利町は奄美大島の北部、珊瑚礁に囲まれた穏やかな海とサトウキビ畑が広がるなだらかな丘陵地帯です。また、空港所在地なので、勤務終了後に鹿児島へ飛ぶことも可能です。

笠利地区支援室は今年度3名が転出し、新たに新規採用者2名・転入者1名を迎えて、男性3名女性4名・20代から50代までの計7名で活動しています。

さて、支援室の活動も2年目に入りました。

これまで同様、月3回・第1～第3水曜日 14:00～16:45を基本形とし、赤木名中学校を執務室としています。諸手当認定事務、各業務分担係からの計画・報告、支援室だより「シャリンバイ」の発行、「笠利町版事務の手引き」の改訂、連携校からの課題とアドバイス、各種研修の推進、相互点検・教育支援等の実施に向けた検討等を行っています。

今年度新採者配置校が県の監査に該当したため、急きょ監査準備支援業務を入れ込み、該当校での書類の抜き出し・内容の点検等支援を行い、無事監査を終えることができました。

また、奄美市では3年サイクルで夏季休業中に数校ずつ、厳格な定期監査が行われています。今年度から該当校で、備品の現物点検等の支援業務を行いました。夏季休業中出勤する職員数が少なかったり・新たに赴任された事務職員に監査の手順等の支援ができ、無事監査を終えることができました。

歩みはゆっくりですが、これからも支援業務を広げつつ笠利独自の「学校事務の共同実施」を模索していきたいと思っています。

今後とも笠利地区学校事務支援室をよろしく願います。



③大和村事務支援室 名音小学校 播磨 芳郎

こんにちは、大和村事務支援室です。

大和村では、大和村事務支援室「準備室」として、昨年度より活動してきました。それが本年度の定期人事異動によって専門員となる先生を迎えたことで、本年9月より、「事務支援室」として新たに活動を開始することとなりました。

大和村事務支援室は、大和中学校、大和小学校、大棚小学校、名音小学校、今里小学校（大和小湯湾釜分校は現在休校）の5校、3人の事務職員で構成されています。「拠点校」は大棚小学校。大棚小学校長が「会長」となり、大和小事務職員（専門員）が「室長」となっています。

業務は月2回の執務日（14:00~16:45）を定例会として、拠点校で実施しています。3月や4月といった繁忙期には3~4回に活動回数を増やすなどして対応しています。もちろん村内の各校とも小規模であるため、学校行事を優先し、柔軟に執務日の日程を変更するなどして対応しています。

自主検査は各学校で実施する形式をとり、終日をかけ相互点検の形で行っています。

業務内容としては、大和村事務支援室広報誌「じんむん」の隔月発行。諸手当認定業務、事例研修、各職員のスキルアップのためのスキルアップ研修、村費業務研修などの研修を各事務職員の経験年数や学校事情に対応した形で行っています。

これまで村費様式の統一、備品台帳ソフトの作成、ファイリングの統一など行ってきました。正式に支援室となった本年度を皮切りにして、明るい事務室、明るい事務支援室を目標にがんばっていきたいと思います。

いらっしやい大和村。どうぞよろしくお願ひします。

④龍郷町事務職員部会 龍郷町立龍瀬小学校 上崎 暁人

こんにちは、龍郷町事務職員部会です。

龍郷町は奄美大島の東部に位置し、東西は奄美市、北は東シナ海・笠利湾、南は太平洋に面しています。

小学校6校、中学校2校、小中学校1校の9校に8名（うち漁師2名）の事務職員が配置されています。2年前から町教委と連携をとりながら、管外研修視察や町研修会、夜の研修会等を通して共同実施導入に向けて研修を進め、今年の10月1日から共同実施が始まりました。拠点校である龍南中学校に週1回程度、9時~12時の時間に集まり業務を行っています。まだスタートしたばかりで分からないことばかりですが、みんなで連携をとり協力し合いながら業務を進めています。特に認定簿等の相互点検や広報活動に力を入れ、これまで学期1回発行していた広報誌「ひりゅう」を学期2回に増やし、今まで以上に情報発信していきたいと思っています。また、町で作成した中間計画をもとに、実践しながら検討を重ね、共同実施についての研究を進めていきたいと考えています。

共同実施については新米の龍郷町ですので、みなさんのアドバイスを夜の研修会等を通してたくさん頂けたらと思います。今後も龍郷町事務職員部会を宜しくお願いいたします。



~新規採用者の声~

伊仙町立喜念小学校 服部 直子

学校事務職員として喜念小学校に赴任して半年が経ちました。毎日、壮大で透き通る海を眺めながらの通勤は最高です。

これまでは、中学校教諭として現場にいましたが、事務職は初めてであり、4月当初、不安いっぱいだったことを思い出します。常にマニュアルにとらめっこしながら、町内の先輩方に幾度となく電話をして助けてもらいました。（今でも、変わりませんが・・・）

事務職員研修会や共同実施は、私にとって「学びの場」であり、先輩方はいつでも丁寧に教えてくださいます。感謝の気持ちでいっぱいです。

喜念小学校の校庭には、大きなアカギの木があり子どもたちを見守ってくれています。今日も、にぎやかな元気な声が校庭にひびいています。机に向かいながらも、ほっとする笑顔になれる光景です。

伊仙町立面縄中学校 末吉 夏奈

新規採用されてから、早くも半年以上の月日が立ち、流れる時間の速さに驚いてばかりです。子どもと学校が大好きで、昔から学校現場にあこがれを持っていた私にとっては、すべてのことが新鮮で、感動の連続でした。

中学校でバレー部にも参加しているのですが、生徒と向き合いながら、教育現場で働くことのむずかしさを感じています。そんななかで生徒が見せる笑顔や、生徒との会話が、私にとってのなによりもの励みです。しかし、半年以上たった今でも、まだまだ慣れず、不安を抱えながら仕事を進めています。

何がわからないのかもわかっていなかった私がなんとか頑張ってきたのは、学校の先生方や、他校の事務職員の先輩方のおかげです。どんな些細な疑問にも、いつも丁寧に説明してくださり、本当に恵まれていると感じています。

まだまだ助けていただければいいのですが、いつかは私も他の先生方の力になれるよう、大島郡の大自然の中で、楽しみながら学校事務の仕事頑張っていきたいです。今後ともよろしくお願ひします。

奄美市立赤木名小学校 萩原 麻緒

赤木名小学校に新規採用として赴任して早半年が経過しました。事務室や校舎の中を少しずつ把握していったり、先生方や児童たちと冗談を言い合ったりしている時にふと、時間が経過していることを実感します。赴任してからの半年間、初めは業務内容もはっきりとわからず、そもそも仕事に関する単語の意味もわからず、言われたことをするのに一日に何度も何度も先輩事務職員に電話をして作業を進めていきました。

兼務校もあるため、ミスをしてしまって1日に2往復してしまった時もありました。半年経った今ではできることが大幅に増えたわけではありませんが、質問する前に自分なりに少しは勉強したり調べたり、教頭先生やほかの先生方に頼まれごとをされたり、ほんの少しですがゆとりができてきたのかなと思います。兼務先に行くのも最初は週に2回だったのが、だんだんと頻度を下げられていることにちょっとだけほっとしています。学校の先生方は優しく、支援室の先輩方もとても温かく、児童も保護者も明るく接して下さり、私はとても恵まれた場所にいます。

これからまた同じだけの時間が流れたら新規採用としての一年目が終わり、ほとんど全ての業務は経験済みとなります。まだまだ分からないことばかりで、気を抜けばミスもしてしまいますが、半年後、少しでも成長した自分でいられるようにこれからの時間も大切に、謙虚に明るく過ごしていきたいと思っています。

奄美市立宇宿小学校 山下 健司

宇宿小学校にきて6か月が過ぎ、7か月目も終わろうとしています。私の半年間を振り返るにあたって、私はメモを見返します。私の学校では紙の節約のために裏紙をよく使います。あまり重要でない書類や、回覧して破棄するだけの書類を作るときには裏紙に印刷するようにしています。そのため、印刷室には新しいコピー用紙だけでなく裏紙もたくさん置いてあります。もともとは使用済みの紙なので何も気にすることなく使うことができ、印刷する以外にもメモ用紙代わりとして使えます。私は仕事をしている最中、急に先生方に何かを頼まれたり電話がかかってきたりした時にすぐに内容をメモできるよう学校では常に裏紙を持ち歩いています。そうした習慣がついたのは5月の末頃からで、だんだんと裏紙にいろいろなことを書くようになり、7月になった頃にはある形ができあがりました。「書いた日の日付」、「その日やる仕事」、「わからないので勉強すること」、「わからないので質問すること」、「近々提出する物」、「購入予定の消耗品等」、「その他」。これらを毎朝1枚の裏紙に箇条書きしてから仕事を始めます。そして一つ一つ終わったものから横線をひいて消していき、終わらなかった項目は次の日に持ち越します。次の日の朝も前の日の内容を見ながらその日の仕事を裏紙に書いていきます。そうやって毎日繰り返していくうちにたまってきた裏紙はクリップではとめきれなくなり、今では小さい目玉クリップも卒業して中くらいのサイズの目玉クリップではさむようになりました。この分厚くなった裏紙の束には、私の約半年間の仕事内容や学んだこと、ただのメモ書きや落書きなどが書いてあり、この束はその厚さの分だけ、もしくはそれ以上に私が成長している証だと思います。

今この原稿を書いている私の横には、この原稿を書くにあたってどのような内容にするか、どう書き進めていくかなどが書き込まれている裏紙があります。このようにまず何をどのようにするかを書くのと同じように、一日の仕事をどう進めるかを書いていくことで、

次第に効率のよい仕事の進め方を自分の頭で考えられるようになると思います。

事務職員としてテキパキと仕事をこなせるようになるために、一歩ずつ成長していきます。よろしくお祈りします。

～支援室に感謝～

奄美市立赤木名中学校 いちの一野と申します。

赤木名中学校の いちの一野と申します。H25.2.28付で、産休代替を経て現在育休代替として勤務しております。

年度末の多忙な時期からの着任ということで、覚悟はしておりましたが3月～5月を乗り切るためには大変な労力と体力が必要でした。まずは慣れない通勤（往復2時間）に体力を奪われ毎日ヘトヘトになって帰り着くという日々でした。

仕事の傍ら、奄美市の女子ソフトボールの監督をしていたため、週3回の練習そして、ナイターソフトの記録等もあり一日一日をこなしていくのがやっとのことでした。

それでもこれまでやってこれたのは学校事務支援室という存在があったからです。笠利地区事務支援室では室長を初め、丁寧かつ熱心にわかりやすい指導をいただいています。特に助かっているのが笠利地区の全ての学校にIP電話が設置されており、何かわからない事があれば気軽に質問できることです。

自分一人ではここまで来れませんでした。これまで指導して頂いた先生方のおかげです。これからも一つ一つの仕事を正確かつ迅速にこなしていけるよう頑張るとともに、常に相手の立場に立って考え行動できる人をモットーに日々精進していきたいと思っています。（元気があれば何でも出来る(^o^)

これからもご指導よろしくお願い致します。

○大事協は次のような意義のもと 設立・活動しています○

○御確認をお願い致します○

< 協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。 >

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪（わ）」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がり 親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。

○編集後記○

今回は、天城町が中心となり、編集・原稿集約して頂きました。松崎先生、大変お世話になりました。

次号は、来年2月発行予定です。編集担当は、瀬戸内町、原稿提出は①徳之島町②喜界町③与論町④奄美市住用ブロックです。よろしくお祈りします。

今年も大事協へのご協力、ありがとうございました。もうすぐ少し長めの冬休み。体調に気をつけて、パワー充電しましょう！！